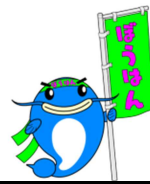


令和3年10月末の犯罪発生状況

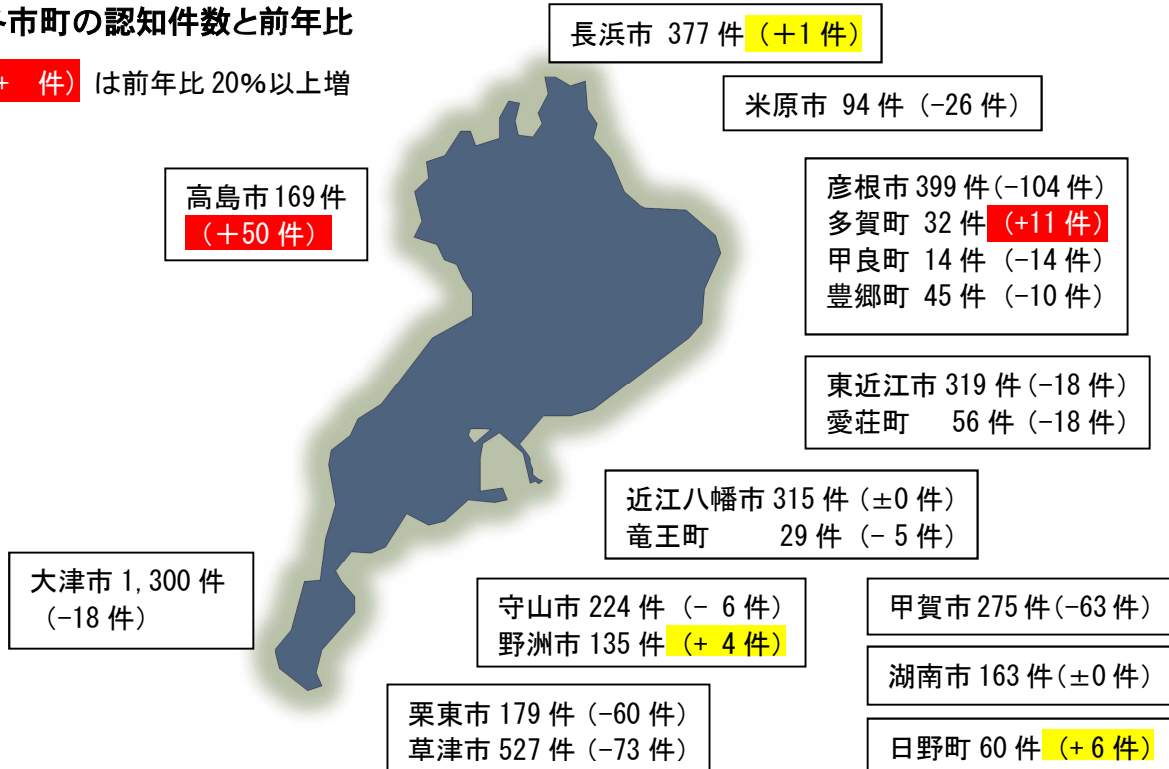


令和3年11月15日
(公社) 滋賀県防犯協会

県内の刑法犯認知総数 4,745 件(前年比-325 件 -6.4%)

● 各市町の認知件数と前年比

(+ 件) は前年比 20%以上増



多発犯罪(190 件以上)

- ① 万引き 753 件 (-149 件)
- ② 自転車盗 731 件 (-130 件)
- ③ 器物損壊 493 件 (-47 件)
- ④ 詐欺 331 件 (+29 件)
- ⑤ 車上ねらい 221 件 (-7 件)
- ⑥ 置引き 198 件 (+18 件)

※ 侵入窃盗 338 件 (-11 件)
うち、居空き 16 件 (+4 件)

犯罪率(人口1万人当たりの刑法犯認知件数)

全国平均「37.1 件」 滋賀県「33.4 件」 全国平均より高いのは

- ① 豊郷町:61.2 件 ② 多賀町:42.2 件 ③ 草津市38.8 件
- ④ 近江八幡市:38.3 件 ⑤ 大津市:37.8 件

気になる犯罪(特殊詐欺)

1 月～10 月の発生は 79 件(前年比+1 件)、被害総額は約 11,799 万円(前年比-約 2,591 万円)。高齢者(65 歳以上)の被害は 55 件(約 69.6%)、約 8,628 万円(約 73.1%)となっています。

10 月は、架空料金請求詐欺(料金未納名目で A T M から振り込ませる手口)が 2 件。還付金詐欺(市役所職員、金融機関職員をかたって電話し A T M に誘導し操作方法を指示して犯人口座に振り込ませる手口)が 1 件。預貯金詐欺(警視庁の警察官をかたってスマホ画面に警察手帳を表示してキャッシュカードを騙し取る手口)が 1 件発生しました。

こんな言葉に気を付けて!

- <架空料金請求詐欺> メール「利用料金の未払いがある」⇒
- ①電話「ウイルスに感染している。」「ウイルスをばらまいているので訴訟を起こされている、保険に加入してほしい」⇒振り込ませる
 - ②電話「未払い登録があるが、95%は返金される」⇒振り込ませる
- <還付金詐欺> ニセ市役所職員「介護保険を払い過ぎている」⇒ニセ銀行職員「銀行に行って、着いたら電話ください」
- <預貯金詐欺> ニセ警察官「詐欺犯人を逮捕した、口座が被害に遭っている」「返金するにはキャッシュカードを裁判所に持っていく」⇒ニセ警察官にキャッシュカードを渡すと切込みを入れて持ち帰る。

※すぐに警察へ相談してください。

前年比・増加犯罪(増加件数順)

- ① 暴行 178 件 (+42 件)
- ② 傷害・傷害致死 156 件 (+39 件)
- ③ 詐欺 331 件 (+29 件)
- ④ 置引き 198 件 (+18 件)
- ⑤ 強制性交 23 件 (+11 件)
- ⑥ 強制わいせつ 49 件 (+10 件)
- 倉庫荒し 43 件 (+10 件)